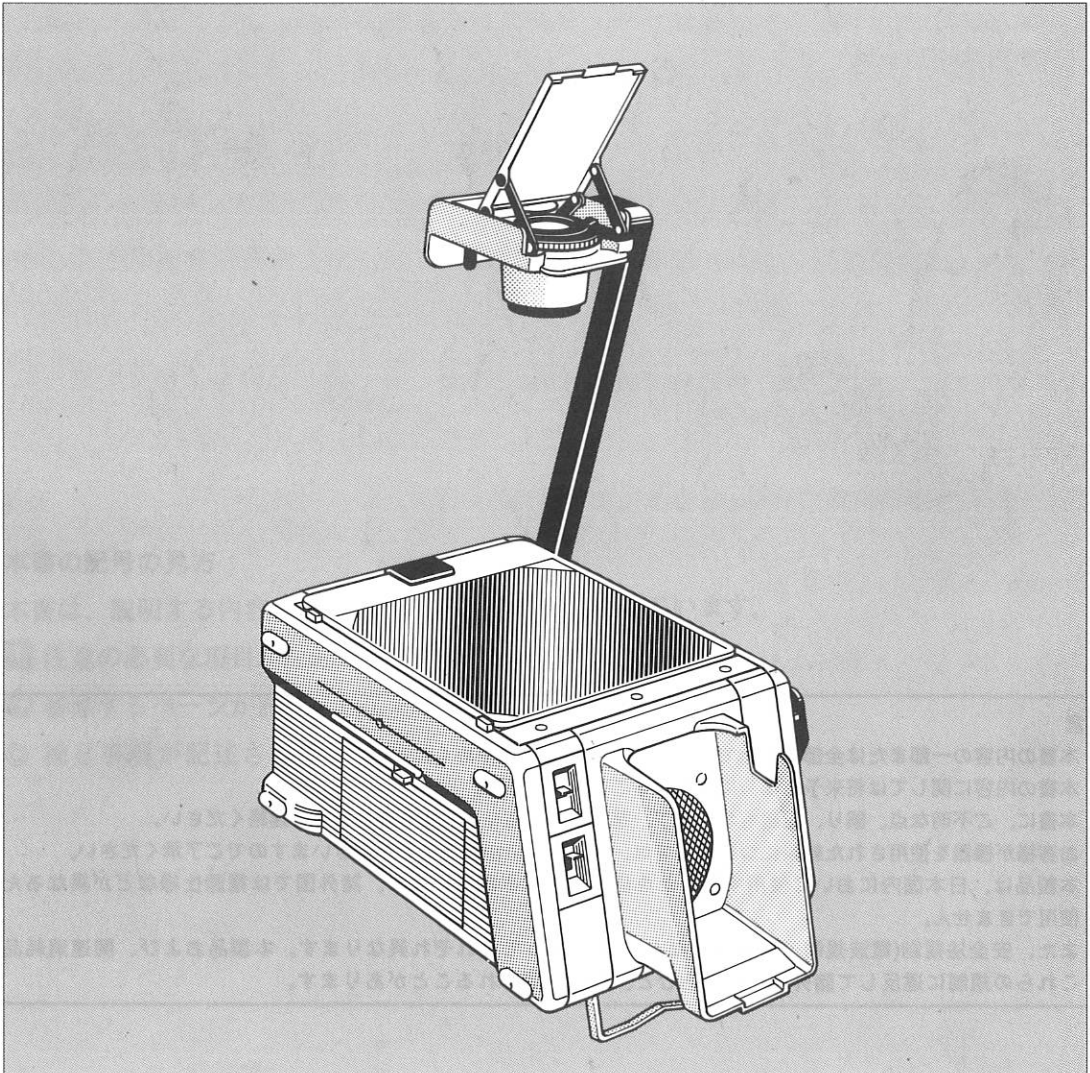


PLUS<sup>®</sup>

オーバーヘッドプロジェクタ  
CX-900M

取扱説明書 (保証書付)



## はじめに

このたびは、プラス OHP CX-900M をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
す。

この「取扱説明書」は、CX-900M の操作方法および使用上の注意事項について記載してあります。

CX-900M の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。なお、この取扱説明書は保証書付ですので、お読みになった後も、大切に保管してください。

### ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ お客様が機器を使用された結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。  
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されることがあります。

### ■ 本書の記号の見方

本書は、説明する内容によって、以下の記号を使用しています。

- ❗ 注意の必要な項目が記述されています。
- ➡ 参照するページが記述されています。
- ◎ 補足事項が記述されています。

## OHP CX - 900Mの特長

- メタルハライドランプにより、明るい部屋でも鮮明に映写できます。
- カラーOHPフィルムも鮮明に映写できます。
- 投影距離は最大6m、最大倍率は約17倍で、最高約4.8m×4.8mの大きさのスクリーンに投影できます。
- 電動ズーム機構により、原稿のズーム(拡大)をスイッチ操作で連続的にすばやく行えます。
- 大型ステージの採用により、A4サイズ原稿を縦にも横にも映写できます(標準映写時)。
- アームを起こすだけのヘッド部セット、ワンタッチ電動ズーム、コード自動巻き取りなど、映写準備が簡単です。
- ヘッドアームは折りたたみ可能で、さらに取っ手付きですから、片手で持ち運びができます。
- シャッター機構の採用により、原稿の交換時などに、すばやく映写光を遮断することができます。
- メタルハライドランプは、長寿命(約600時間)ですが、万一のときにもご自分で簡単に交換することができる安全設計です。
- ステージは、平均荷重で約4kgの重さにまで耐えられます。
- 指示棒が内蔵されています。
- スタンドを使うと機械を仰角25°に傾けることができ、スクリーンの位置が高いときに便利です。

## 目次

はじめに

OHP CX - 900Mの特長

使用上のご注意(安全にご使用いただくために)	1
各部の名称とはたらき	2
組み立てかた	4
原稿受けが必要なとき(ステージカバーの利用)	5
スクリーンの位置が高いとき	5
映写のしかた	6
ズーム(拡大)したいとき	7
映写光を遮断したいとき	7
たたみかた	8
持ち運びと保管について	10
ヒューズについて	11
ヒューズの取り出しかた	11
ランプ交換のしかた	13
故障かなと思ったら	15
日常のお手入れ	16
主な仕様	17
アフターサービス	18

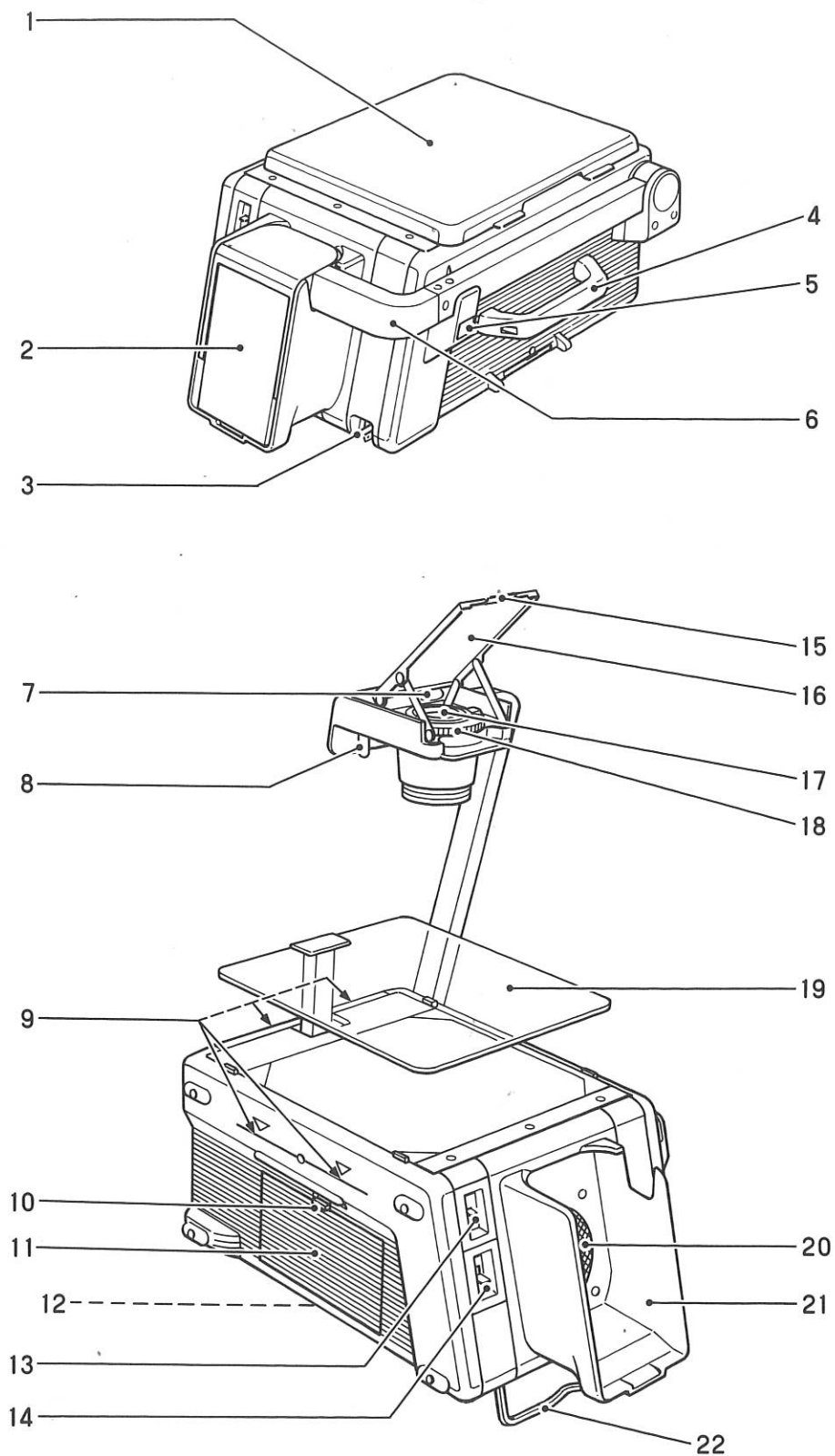
保証書

保証規定

## 使用上のご注意(安全にご使用いただくために)

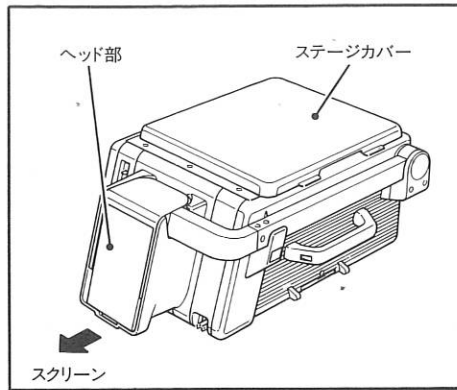
- お子様を使用するときは、危険のないよう十分にご注意ください。
- 映写直後はランプが高温になっていますから、ランプには絶対に触れないでください。
- ランプを交換したり、ヒューズを取り出したりするときは、必ず電源を切り、冷却ファンが止まってから交換してください。
- 本体を落下させた場合や、本体に破損が認められる場合は、弊社または販売店にご相談ください。
- コードを無理に曲げたり、熱い面に近付けたりしないようにご注意ください。コードにき裂などが生じた場合は、弊社または販売店にご相談ください。
- 延長コードが必要な場合は、電流容量に合ったコードをご使用ください。
- 機械を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。抜くときはコードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
- 機械は、十分冷えていることを確認してからしまってください。保管中はコードを巻き込んでおいてください。
- 感電事故を防ぐため、機械を濡れた状態で使用したり、濡れたテーブルなどの上で使用したりしないでください。
- 点灯中のランプおよびミラーを見つめないでください。
- ステージガラスの下に指を入れないでください。
- ヘッドアームを折りたたむときは、ヘッドアームの水平部分を持って折りたたむようにし、本体とヘッドアームの間に指をはさまないようにご注意ください。
- OHP CX - 700をお持ちのお客様は、OHP CX - 900Mと外観が似ていますので、両方の機械を混同しないようご注意ください。
- いす、クッション材など、燃えやすいものの上に置いて使用しないでください。発煙・発火の恐れがあります。

各部の名称とはたらき



名称	はたらき
1 ステージカバー (兼原稿受けトレイ)	ステージ面を保護します。また、原稿受けトレイとしてそのまま利用できます。
2 ヘッド部	映写レンズ、映写ミラー、シャッターが組み込まれています。
3 電源コード	自動巻き込み式の3.5mコードです。
4 取っ手	持ち運び時はここを持ちます。映写画面の横位置を調整するときも、この取っ手を持って本体を動かします。
5 ロック解除ボタン	ヘッドアームを起こすとき、このボタンを押してロックを解除します。
6 ヘッドアーム	このアームをいっぱい起こすと、ヘッド部が所定位置にセットされます。
7 シャッター(映写光遮断用)	原稿を交換するときなど、光を遮断したいときに使用します。
8 シャッターつまみ	シャッターを開閉するとき、このつまみを移動します。
9 原稿受けトレイ取り付け部	ステージカバーを原稿受けとして利用するとき、ここに取り付けます。
10 アクセサリーボックスつまみ	アクセサリーボックスカバーを開けるとき、このつまみを押し下げます。
11 アクセサリーボックス	指示棒とヒューズの入った収納ボックスです。
12 ランプハウス	ランプが収納されています。ランプハウスは、機械底面にあります。
13 ズームスイッチ	ズーム(拡大)時に上げ下げして、ズーム倍率を調整します。
14 ランプスイッチ	ランプの[入]、[切]を行います。
15 映写ミラーつまみ	映写ミラーの傾きを調整するとき、このつまみを持ちます。
16 映写ミラー	このミラーの傾きで、映写画面の上下位置を調整します。
17 映写レンズ	拡大映写もできるズームレンズです。
18 ピント合わせダイヤル	映写画面のピントを合わせます。
19 ステージガラス	原稿をのせるガラスで、ズーム(拡大)時に上昇します。
20 冷却ファン	ランプ点灯時、または機内の温度が高いときに回ります。ランプスイッチを[切]にした後、ランプの冷却が十分行われると、自動的に止まります。
21 ヘッド収納部	ヘッドアームを折りたたんだとき、ヘッド部がここに収納されます。
22 スタンド	スタンドを起こすと、仰角が最大25°になります。(スタンド未使用時は最大20°)

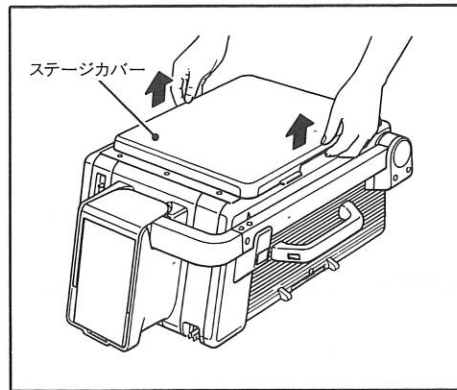
## 組み立てかた



### 1 機械を設置します

ステージカバーを上側にし、ヘッド部(収納部)をスクリーン側に向けて設置します。

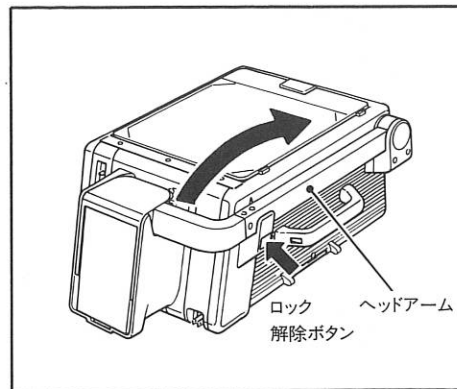
- ❗ ● スクリーンの位置が高いときは、底面部のスタンドを起こしてから設置します。➡5ページ
- 機械は安定したところに、水平に設置してください。
- 布切れや紙の上に置かないでください。風通しが悪くなり、故障の原因になる場合があります。



### 2 ステージカバーをはずします

ステージカバーの両側を持ち、上方向にはずします。

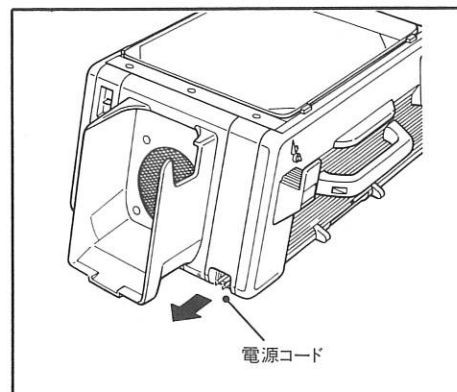
- ◎ ステージカバーは原稿受けトレイとしてご利用ください。➡5ページ



### 3 ヘッドアームを起こします

ロック解除ボタンを押しながら、ヘッドアームを最後まで静かに起こします。

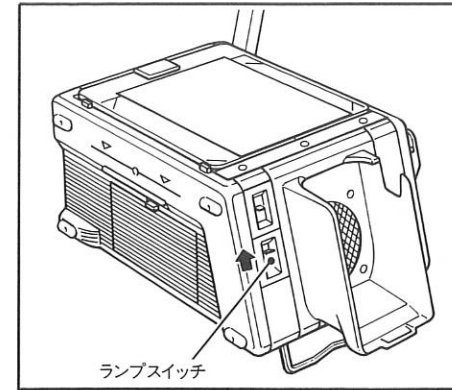
- ❗ ● 左図の向き(ステージ面が上側)以外で、ロック解除ボタンを押さないでください。ヘッドアームが飛び出す場合があります。
- 映写画面の横位置を調整するときなど、ヘッドアームを持って本体を動かさないでください。



### 4 電源コードをつなぎます

電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントにつなぎます。コードは3.5mまで延ばせません。

- ❗ ● コード根元の赤マークが見えたら、それ以上コードを引き出さないでください。

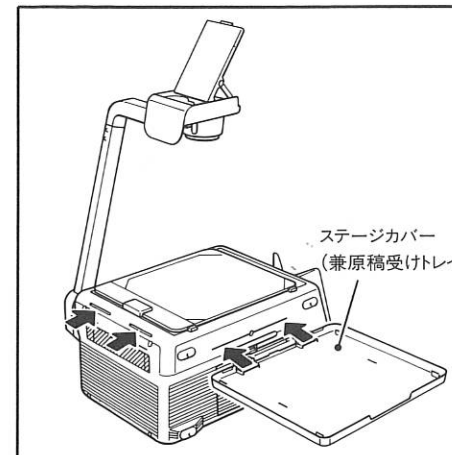


### 5 ランプスイッチを入れます

ランプスイッチを[明]の位置にします。約2分後にランプが点灯します。

- ❗ ● ランプが十分に明るくなる前に、[明]([暗])から[切]にすると、1分間ランプが消えない場合があります。
- ランプが十分に明るくなる前に、[明]([暗])、[切]の操作を繰り返し行わないでください。
- 点灯中はショックを与えないでください。ランプ切れの原因となります。
- 使用中にいったんランプスイッチを[切]にして、2~3分以内に再点灯した場合、ランプスイッチを[暗]の位置で点灯すると、一度[明]の明るさになり、約1分後[暗]の明るさで安定します。

- ◎ 中間の[暗]位置は、映写光が明るすぎる时候にご利用ください。

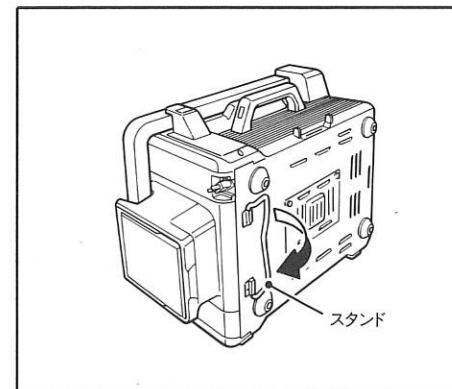


### ■ 原稿受けが必要なとき(ステージカバーの利用)

原稿受けトレイとして、ステージカバーをご利用ください。

ステージカバーの金具を、本体側面の取り付け部に差し込みます。

取り付け部は2つの側面にあります。

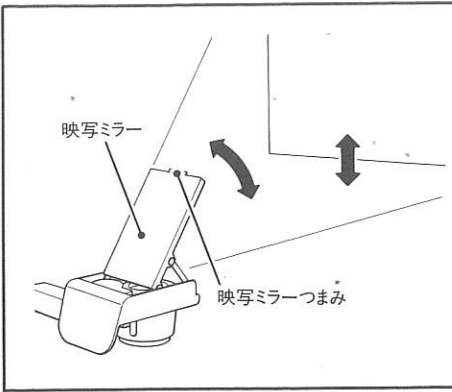


### ■ スクリーンの位置が高いとき

スクリーンの位置が高いときは、底面にあるスタンドを使います。

スタンドを止まるまで起こします。仰角が最大25°になります。(スタンド未使用時は最大20°)

## 映写のしかた

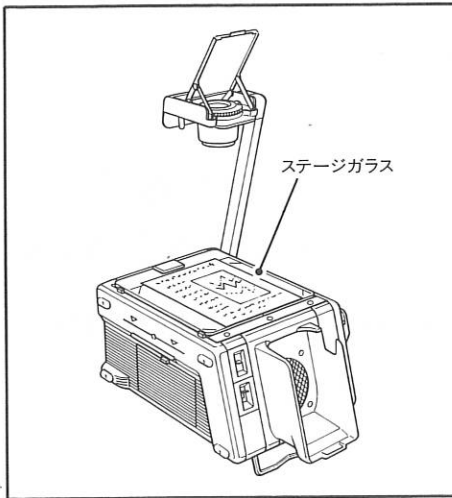


### 1 映写ミラーを起こします

スクリーンの高さに合わせて、映写ミラーつまみを持ち、映写ミラーの角度を45°くらいに調整します。

❗ 映写ミラーに指が触れないようにご注意ください。指が触れると映写ミラーが汚れ、映写画面の鮮明さが失われます。

◎ スクリーンの位置が高いときは、底面にあるスタンドを起こします。⑤5ページ



### 2 原稿をセットします

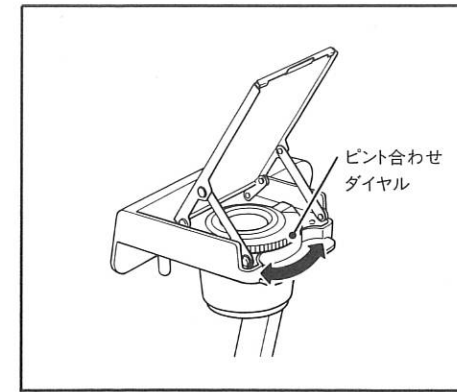
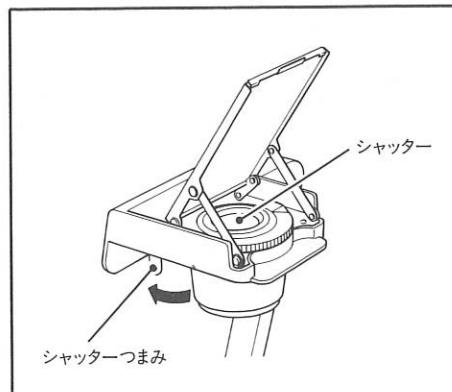
ステージガラスの上に原稿をセットします。ステージガラスが最下位置に下がった標準状態で、A4サイズの原稿を、縦にも横にも画面いっぱい映写できます。

◎ スクリーンまでの距離を長くすると、映写画面は大きくなります。距離と画面の大きさの関係は、下表を参照してください。

映写画面サイズ (ステージサイズ 28.5×28.5cm)	映写距離	映写倍率
122.5×122.5cm	150cm	4.3倍
150×150cm	186.4cm	5.3倍
180×180cm	221.5cm	6.3倍
200×200cm	250.7cm	7.1倍
239.5×239.5cm	300cm	8.4倍
486×486cm	600cm	17.0倍

### 3 シャッターを開きます

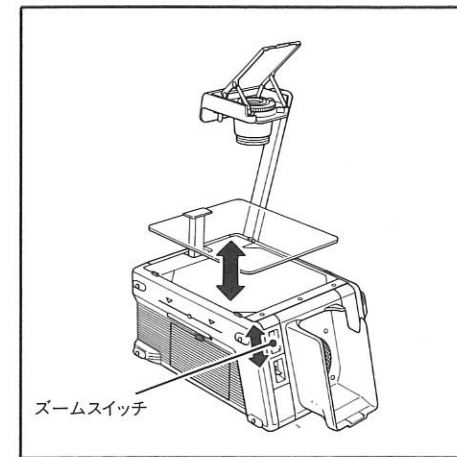
シャッターつまみを矢印の方向に回し、シャッターを開きます。



### 4 ピントを合わせます

鮮明な画面が得られるように、ピント合わせダイヤルを回してピントを調整します。

❗ ピント合わせは、ステージガラスが標準状態のときに調整してください。標準状態以外の位置で調整すると、部分拡大(ズーム)時にピントがずれることがあります。

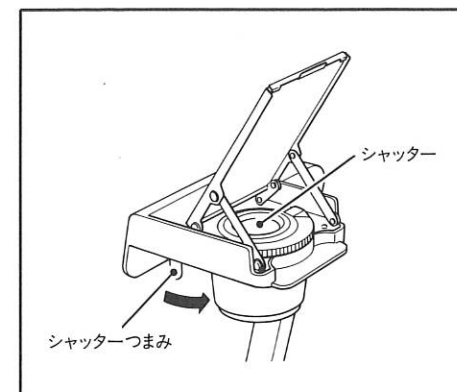


### ■ ズーム(拡大)したいとき

原稿の一部、または全体をスクリーンいっぱいに映写したいときは、ズームスイッチを上にも動かします。

ステージガラスが上に動き、原稿が拡大されます。

ズーム倍率は連続的に変えられますので、適当な位置に合わせてください。最も倍率を大きくしたときは、14×14cmの範囲が映写されます。



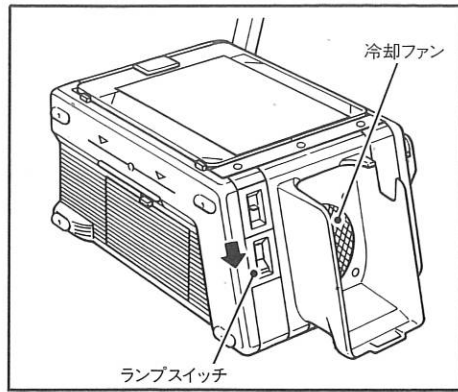
### ■ 映写光を遮断したいとき

原稿の交換時など映写光が邪魔になるときは、シャッターつまみを矢印の方向に回してください。光路にシャッターが入り、光を遮断します。

◎ ● メタルハライドランプは、点灯しても十分に明るくなるまでに約2分かかります。5~10分間映写しないときは、ランプを切る代わりに、シャッターをお使いください。

● 映写光がまぶしいときには、ランプスイッチを[暗]にすると、約30%減光することができます。

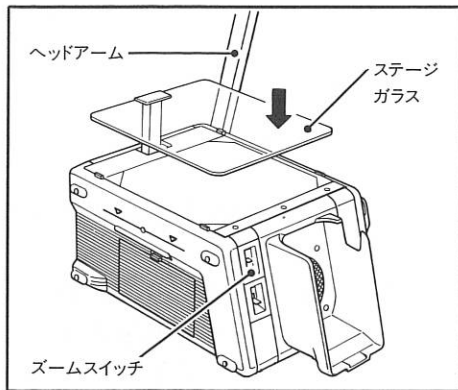
## たたみかた



### 1 ランプスイッチを[切]にします

ランプスイッチを[切]にして、ランプを冷却します。

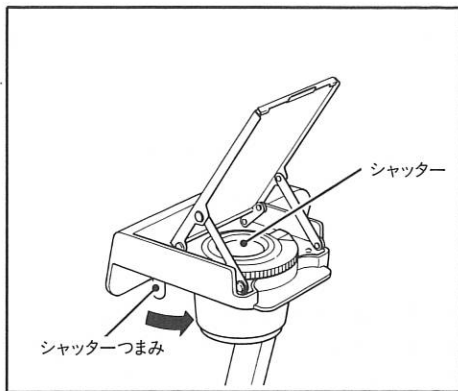
- ❗ ● 冷却ファンが止まるまで、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- ランプスイッチを入れ、ランプが十分に明るくなる前にランプスイッチを[切]にすると、約1分間はランプが点灯したままになります。
- ◎ ランプが十分に冷却されると、冷却ファンは自動的に止まります。



### 2 ステージガラスを下げます

ヘッドアームを折りたたむ前に、ズームスイッチを押下げて、ステージガラスを標準状態に戻します。

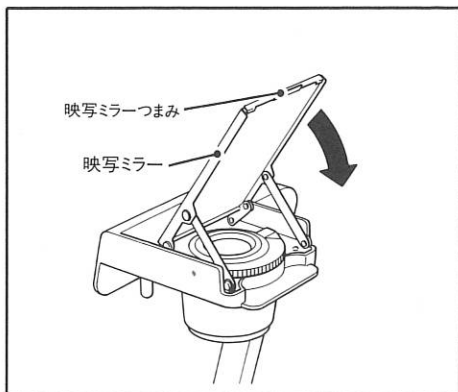
- ❗ ステージガラスを下げる時、指をはさまないようにご注意ください。



### 3 シャッターを閉じます

シャッターつまみを持って、シャッターを閉じます。

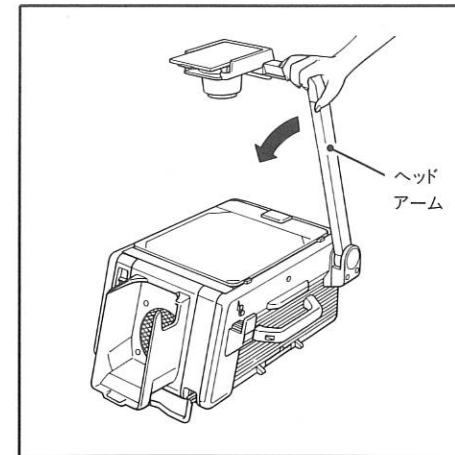
- ◎ 機械をたたむときは、レンズを保護するため、シャッターを閉じてください。



### 4 映写ミラーを折りたたみます

映写ミラーつまみを持って、下に折りたたみます。

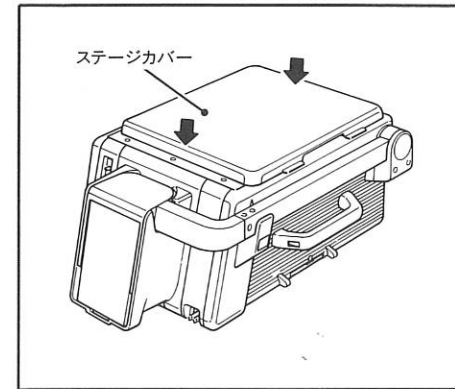
- ❗ 映写ミラーに指が触れないようにご注意ください。指が触れると映写ミラーが汚れ、映写画面の鮮明さが失われます。



### 5 ヘッドアームを折りたたみます

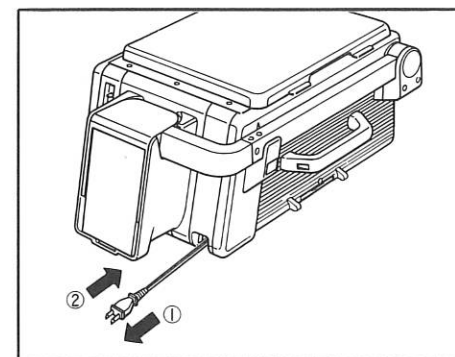
ヘッドアームの水平になった部分を握って、矢印方向に静かに折りたたみます。

- ❗ ヘッドアームは、確実にロックされるまで折りたたんでください。



### 6 ステージカバーをかぶせます

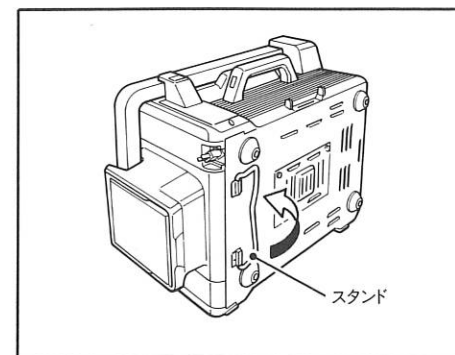
ステージカバーの凹部を、ステージガラス横の凸部にあわせて上から軽く押さえます。“パチン”と音がして、ステージカバーが取り付けられます。



### 7 電源コードをしまえます

電源プラグをコンセントから抜きます。次に、電源コードを軽く手前に引いてから①、ゆっくり戻していくと②、自動的に巻き込まれていきます。

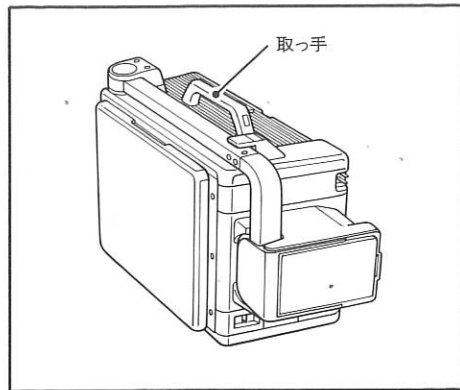
- ❗ 電源コードを無理に押し込まないでください。



### 8 スタンドを折りたたみます

底面のスタンドをお使いの場合は、スタンドを折りたたみます。



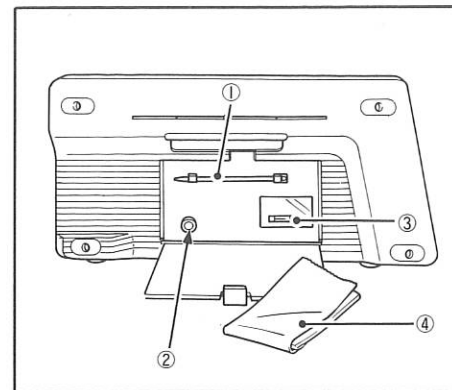


### ■ 持ち運びと保管について

機械を持ち運ぶときは、取っ手を持って運んでください。

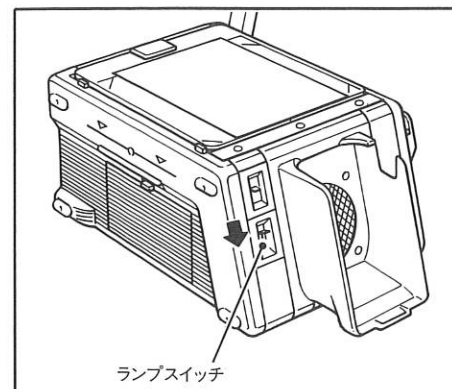
保管するときは付属のダストカバーをかぶせて保管してください。

## ヒューズについて



ヒューズは、アクセサリボックスの中に入っています。アクセサリボックスには、そのほかに指示棒、スペアヒューズ、シリコンクロスが入っています。

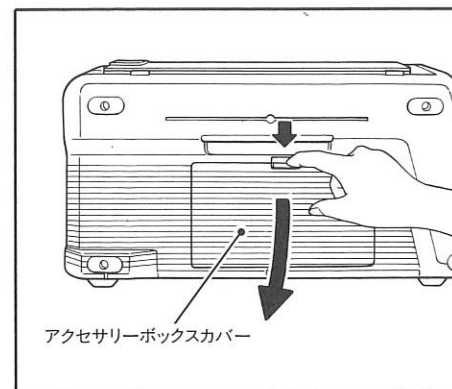
- ① 指示棒
- ② ヒューズ(本体内部に取り付けられています)
- ③ スペアヒューズ
- ④ シリコンクロス
- ◎ 指示棒は下方に押し下げて取り出します。しまうときは、取り付け部に下側から押し上げて取り付けます。



### ■ ヒューズの取り出しかた

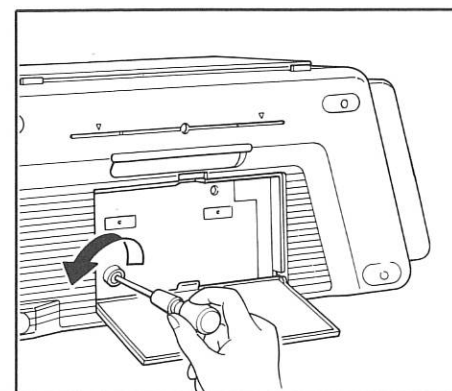
ヒューズが切れていると、ランプが点灯しません。ヒューズが切れていると思われるときは、以下の手順でヒューズを確認し、弊社または販売店まで交換をご依頼ください。

- 1 ランプスイッチを[切]にし、電源プラグをコンセントから抜きます



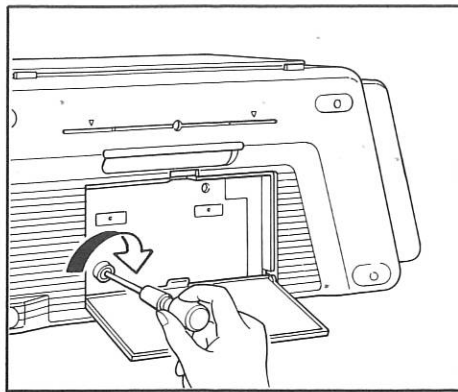
- 2 アクセサリボックスカバーを開きます

アクセサリボックスつまみを押し下げて、カバーを開きます。



- 3 ヒューズを取り出します

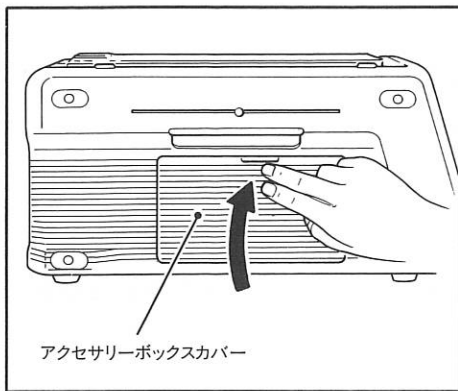
アクセサリボックス内のネジを+のドライバーで左方向に回します。ネジごとヒューズが取り出せます。



#### 4 ヒューズを確認し、しめます

ヒューズを確認したら、元の位置に+のドライバーでネジ(ヒューズ)を取り付けます。

**!** 映写直後は、ヒューズが高温になっていますので、ヒューズには触れないでください。



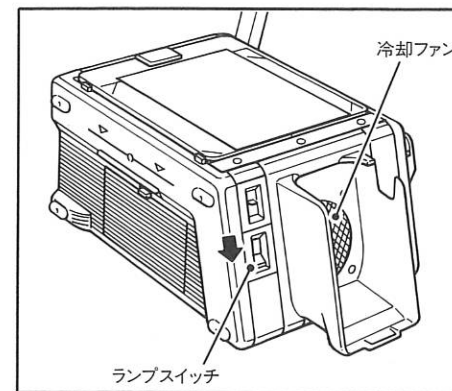
#### 5 アクセサリーボックスカバーを閉めます

アクセサリボックスカバー

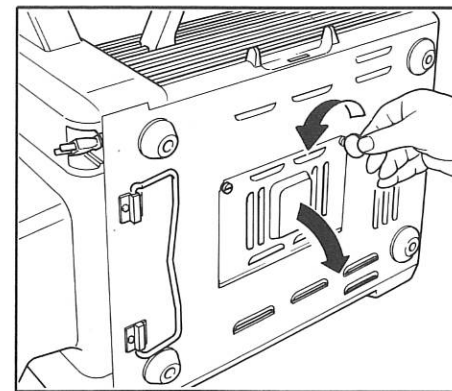
## ランプ交換のしかた

ランプの寿命は約600時間ですが、画面が暗くなったり画面の色味が変化したら、新しいランプと交換してください。

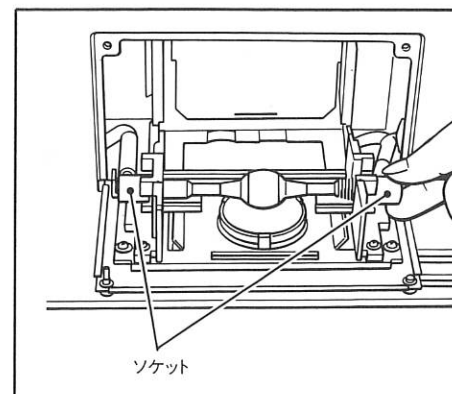
**!** ランプを交換するときは、高温のためやけどをするおそれがありますので、十分にご注意ください。



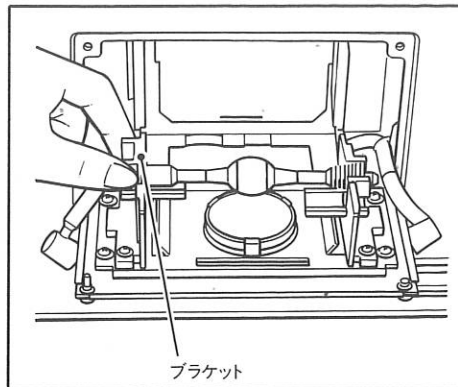
**1** ランプスイッチを[切]にします  
冷却ファンが止まってから約10分間待ち、電源プラグをコンセントから抜きます。



**2** ランプハウスのカバーを開けます  
2ヶ所のネジをコインなどでゆるめ、カバーを開けます。

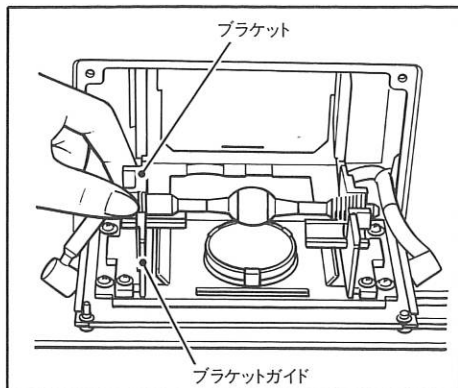


**3** ランプ両側のソケットを外します  
ランプ両側のソケットを、片方ずつ外します。



#### 4 ランプを取り外します

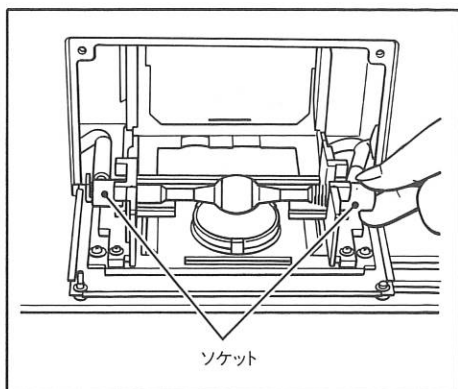
左側のブラケット部とランプの右端を持ち上げ、使用済みのランプを取り外します。



#### 5 新しいランプを取り付けます

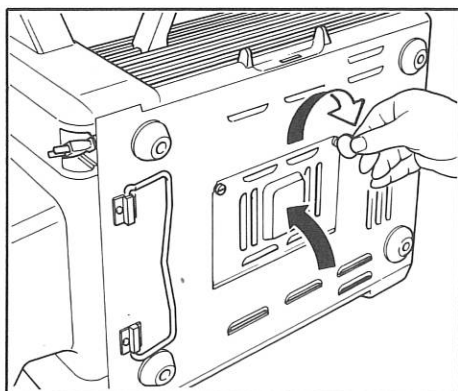
新しいランプの左側のブラケット部とランプの右端を持ち、ブラケットガイドの溝に沿って確実に止まるまで押し込みます。

**!** 新しいランプを取り付けるときは、必ず左側のブラケット部とランプの右端を持ち、ランプのガラス部分に指が直接触れないようにして、取り付けてください。指の脂などがランプのガラス部分に付着しますと、ランプの寿命が短くなることがあります。



#### 6 ランプ両側にソケットを差し込みます

ランプ両側のソケットを、片方ずつしっかりと差し込みます。



#### 7 ランプハウスのカバーを閉じます

カバーを閉じ、2ヶ所のネジをコインなどでしっかりと閉めます。

**!** ランプハウスのカバーが確実に閉まっていることを確認してください。ランプハウスのカバーが確実に閉まっていないと、スイッチを入れてもランプが点灯しません。

### 故障かなと思ったら

症状	チェック事項	処置
ランプスイッチを入れても冷却ファンが回らない	電源ブレーカーがOFFになっていませんか。	他の電気製品をコンセントに差し込んで、電源が通じているかどうかを確認してください。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ランプスイッチを入れてもランプが点灯しない	ヘッドアームが定位置まで起きていますか。	ヘッドアームを定位置まで起こしてください。 ➡4ページ
	ランプソケットが抜けていませんか。	電源コンセントを抜いてからランプハウスのカバーを開き、ランプの両端のソケットをしっかり押し込んでください。 ➡13ページ
	ランプが切れていませんか。	ランプ中央部が極端に黒ずんだり、不透明になっている場合は、電源コンセントを抜いてから新しいランプと交換してください。 ➡13ページ
	ランプハウスのカバーのネジがゆるんでいませんか。	電源コンセントを抜いてから、2ヶ所のネジをコインなどでしっかり閉めてください。 ➡14ページ
ランプスイッチを入れてもランプが消灯しない	ヒューズが切れていませんか。	ヒューズを確認してください。 ➡11ページ
映写した像がぼやける	ランプスイッチを[明]か[暗]にした後、すぐに[切]にしませんでしたか。	ランプスイッチを入れ、ランプが十分明るくなる前にランプスイッチを[切]にすると、ランプはランプ回路保護のために、約1分間点灯したままになります。約1分間たつと消灯します。
	ピントがずれていませんか。	ピント合わせダイヤルでピントを合わせてください。 ➡7ページ
	映写距離が近すぎたり、遠すぎたりしていませんか。	映写距離を150cm~600cmにしてください。 ➡6ページ
	映写レンズ、映写ミラー、ステージガラスが汚れていませんか。	映写レンズ、映写ミラー、ステージガラスをきれいに掃除してください。 ➡16ページ
原稿が浮き上がっていませんか。	浮き上がっている原稿をステージに密着させてください。 ➡6ページ	

次ページへ続く→

症状	チェック事項	処置
映写画面全体が暗い、または一部が暗い	ランプスイッチを入れてから、約2分間たちましたか。	ランプスイッチを入れてから、完全に明るくなるまで約2分間かかります。約2分間お待ちください。
	ランプスイッチが[暗]の位置にセットされていませんか。	ランプスイッチを[明]の位置にセットしてください。 ➡5ページ
映写画面が写らない	シャッターが閉じていませんか。	シャッターつまみを回して、シャッターを開けてください。 ➡6ページ
	ランプが切れていませんか。	ランプの寿命は約600時間です。それ以上使用しているようでしたら、新しいランプと交換してください。 ➡13ページ
ランプスイッチを[暗]にしても暗くならない	使用中にいったんランプスイッチを[切]にして、2~3分以内に再点灯しませんでしたか。	使用中にいったんランプスイッチを[切]にして、2~3分以内に再点灯した場合、ランプスイッチを[暗]の位置で点灯すると、一度[明]の明るさになり、約1分後[暗]の明るさで安定します。約1分間お待ちください。

\* 以上の処置を行っても直らないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

## 日常のお手入れ

- ご使用後は、ステージ面の汚れを付属のシリコンクロスや柔らかい布でふきとってください。シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
- 映写レンズや映写ミラーはレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニング液をつけ、軽くふいてください。強くこするとすり傷がつき、映写効果を低下させますので、ご注意ください。
- 使用しないときや持ち運ぶときは、ダストカバーをかけてください。

## 主な仕様

電源	100V 15A(50/60Hz共通)
光源	MSI 575W メタルハライドランプ
ランプ交換	ユニット交換方式
ランプ寿命	(連続点灯時)平均600時間
映写レンズ	f=179~350mm 6枚構成 可変焦点式
拡大映写	電動ズーム式 ズーム(拡大)倍率 最大2倍 ズーム(ステージ移動)時間 約4.5秒(50Hz:約4.8秒 60Hz:約4.2秒)
ステージサイズ	285mm×285mm 標準状態(ステージガラスが最下位置に下がった状態)でA4サイズ縦・横映写・可能
ステージ耐荷重	4kg(平均荷重)
集光系	透過式
減光装置	100%(明)、約70%(暗) 2段階切り替え
シャッター	シャッターつまみによる開閉
ヘッドアーム	折りたたみ式、ロック付き
スタンド	スタンド使用時 仰角25°まで映写可能
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>温度ヒューズ(温度過昇防止)</li> <li>ランプハウスカバー開閉検知スイッチ(ランプ交換時電源OFF)</li> <li>ヘッドアーム検知スイッチ(収納位置でランプ、ズームモーター共に電源OFF)</li> <li>15Aヒューズ</li> </ul>
消費電力	約750W
電源コード	3.5m 自動巻き込み式(コードリール内蔵)
寸法	折りたたみ時 幅387mm×奥行584mm×高さ264mm 使用時 幅387mm×奥行584mm×高さ680mm(ヘッド部まで) 幅387mm×奥行584mm×高さ810mm(ミラー先端まで)
重量	約17.2kg

\* 製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。お近くの弊社または販売店にお申し出ください。なお、保証、使い方など不明の点につきましても、裏表紙記載のお近くの弊社または販売店をご利用ください。

### ●無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、販売店名の記入された保証書(ご購入日より6ヶ月以内のもの)が添付されている場合には、無料修理をさせていただきます。その際の修理は、保証書に記載されている内容の範囲内に限らせていただきます。詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

### ●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き替えられている場合。
3. 弊社または販売店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取り扱い上の不注意(取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

### ●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの弊社または販売店にお問い合わせください。

### ●修理部品の保有期間

OHP CX-900Mの補修用部品は、7年を目安に保有しておりますので、この期間中は修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはお近くの弊社または販売店にお問い合わせください。

### ●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなる場合があります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。
5. 弊社指定工場修理の場合は、購入時の外箱に入れて包装してください。

PLUS®

## オーバーヘッドプロジェクタ 保証書

This Warranty is valid only in Japan.

本書は、裏面の保証規定により無料で修理を行なうことをお約束するものです。

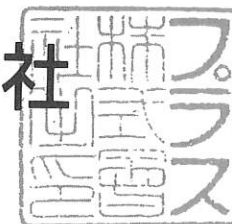
お買上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店又は、もよりの当社営業所・販売会社(別掲)に修理をご依頼ください。

機種 No.	CX-900M	SER. No.	017013
保証期間 年 月 日より6ヶ月間(納入日を必ず記入してください。)			
お客様	ご住所	TEL	
	会社名		
	ご使用部門	ご担当者	
販売店	TEL		

\*故障の際は上記販売店までご連絡ください。

プラス株式会社

〒112 東京都文京区音羽1-20-11



## 保証規定

無償保証期間中でありましても次の場合は修理に要した実費をいただきます。

- 誤ったお取扱いによる故障あるいは損傷。(取扱説明書・設置説明書の注意事項をお守りにならない場合を含みます)
- 修理の必要が生じた場合は、故障現品に保証書を添えて、お買い上げ店、または別掲の当社営業所、販売会社へご持参、またはご郵送ください。ただし、ご持参、及びお持ち帰りの場合の交通費、またはご郵送いただく場合の諸費用はお客様のご負担となります。
- 改造された場合の故障。
- 火災・浸水・異常電圧及び地震・雷等その他の天災地変などによる故障及び損傷の場合。
- 納品後の移動または輸送による故障及び損傷。
- 保証書記入事項が未記入又は改ざんされた場合及び保証書を提示できない場合。
- 弊社指定の消耗品を使用しなかったために発生した故障。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.  
※本保証書は再発行いたしません。大切に保管ください。

\*この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

プラス『オーバーヘッドプロジェクタ』については下記の最寄りの営業所または販売会社にお問い合わせ  
合わせください。

## プラス株式会社

品質保証部お問い合わせセンター ☎043-296-3041

移転等により、変更になる場合があります。

札幌	☎(011) 731-1221	千葉	☎(043) 231-3321	岐阜	☎(0582) 48-1133
釧路	☎(0154) 37-5771	甲府	☎(0552) 32-4882	岡崎	☎(0564) 25-5681
仙台	☎(022) 214-6611	八王子	☎(0426) 48-1800	大阪	☎(06) 532-1141
盛岡	☎(0196) 38-8011	大宮	☎(048) 686-3311	京都	☎(075) 371-2061
青森	☎(0177) 29-3111	横浜	☎(045) 201-2121	神戸	☎(078) 334-2051
秋田	☎(0188) 64-8311	厚木	☎(0462) 24-1511	加古川	☎(0794) 37-5566
山形	☎(0236) 33-5511	静岡	☎(054) 237-1155	広島	☎(082) 256-5001
福島	☎(0245) 45-7676	沼津	☎(0559) 76-2611	岡山	☎(086) 276-7811
前橋	☎(0272) 52-3411	浜松	☎(053) 442-6366	高松	☎(0878) 23-1191
水戸	☎(0292) 48-7433	名古屋	☎(052) 262-1271	山口	☎(0839) 32-2411
宇都宮	☎(0286) 63-2331	金沢	☎(0762) 91-4511	福岡	☎(092) 712-2101
新潟	☎(025) 285-7911	福井	☎(0776) 52-2980	鹿児島	☎(0992) 85-7280
長野	☎(0262) 85-5111	四日市	☎(0593) 54-5550	沖縄	☎(098) 898-0015
東京	☎(03) 3942-3200	富山	☎(0764) 36-2550		